

令和元年度の研究(または活動)内容

研究所の設置目的

1. 医工学分野の研究に携わる(関心を持つ)研究者の, 学内での共同研究(ゆるい協力関係から)を促すための情報交換の場, ネットワークづくり
2. 工大における医工学研究のブランディング
3. 研究用計測・分析機器や研究室(生体医工学研究センター)の共同利用の促進

研究所の活動

- ・ 研究会(勉強会, セミナー)や講演会を開催し, お互いのニーズおよびシーズを知るための情報交換の場を設ける。
- ・ 各研究室の大学院生の参加も促し, 学生間の交流も含め, 教育の場としての機能も持たせる。
- ・ 学際分野である医工学研究に興味・関心をもつ, 様々な専門をベースとする研究者の交流により, ①新たな協力関係の醸成, ②新しい研究テーマの発見, ③共同研究チームの編成, ④外部資金獲得の相互支援などを指向する。
- ・ あらかじめ具体的な研究テーマをもつ研究所ではなく, 新たな研究プロジェクトの自然発生を促すインキュベーション研究所として位置づける。

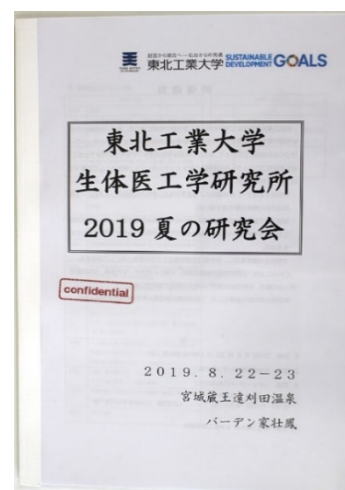
令和元年度活動内容

- ・ 生体医工学研究所 2019 夏の研究会（2019 年 8 月 22～23 日 / 遠刈田温泉バーデン家壮鳳）を開催した。参加した研究所メンバー11名による研究発表とディスカッションを行った。

プログラム

8/22 (木)	
11:25	開会
11:30	身体運動で制御する人工発声装置の研究 (E 伊藤教授)
11:45	バイオ電気化学計測技術の研究、電気化学計測法を用いた細胞の呼吸バースト計測に関する研究 (E 葛西教授)
12:00	昼食
13:00	睡眠に関する基礎研究および応用研究 (E 辛島准教授)
13:15	生体光断層画像計測技術の研究、バイオフィトンによる酸化ストレス計測の研究 (E 小林教授)
13:30	可視領域及び中赤外領域における高出力パルスレーザー技術の研究 (T 佐藤准教授)
13:45	ヒト iPS 神経を主とした薬効薬理および毒性評価に関する研究 (E 鈴木准教授)
14:00	ストレスが関与する生体情報計測、電子スピン共鳴・光計測による抗老化の研究 (G 多田准教授)
14:15	組込システムとセンサネットワークの研究、ネットワークを利用した高度な情報処理に関する研究 (E 中山准教授)
14:30	ナノ材料を用いた高感度簡易分析方法の研究、多孔質ガラス中の化学反応を用いた呼吸分析及び予防医学への応用の研究 (K 丸尾教授)
14:45	介護・福祉用ロボットの研究、ウェアラブルロボティクスの研究 (E 水野准教授)
15:00	視覚機能の定量的測定法の開発―個性にあった豊かな色彩空間を創るために― (矢野先生)
15:15	自由討論

8/23 (木)	
9:00	総合討論 テーマ：共同研究の進め方、院生の指導方法、院生増加策など
11:00	閉会



研究会プロシーディング



- ・ 生体医工学研究所 新年ミーティング（2020 年 1 月 9 日）
年度末に向けての打ち合わせを行った



- ・ 生体医工学研究所 2019 冬の研究会（2020 年 3 月 9～10 日 / 蔵王温泉 G-SQUARE SANGORO B&B HOTEL）を開催した。参加した研究所メンバー8名による研究発表と大学院生、学部生、守研究支援センター事務長を交えてのディスカッションを行った。

3/9（月）	
11:10	開会
11:15	言語脳科学は脳科学最後のフロンティア（矢野先生）
11:45	最近の研究のご紹介（E 水野准教授）
12:00	昼食
14:00	生体信号を用いた人間の認知状態推定の研究（T 三浦准教授）
14:15	健康と酸化ストレス研究（G 多田准教授）
14:30	iPS 神経に関する最近の研究（E 鈴木准教授、小田原助教）
15:00	アレキサンドライトレーザーの全国体化技術に関する研究（T 佐藤准教授）
15:15	美容分野でのバイオフィotonの応用に関する最近の研究（E 小林教授）
15:30	ウェアラブルセンサを利用した生体情報の計測（E 幸島准教授）
15:45	バイオ電気化学計測技術の研究（E 葛西教授）
16:00	子音のリアルタイム音声合成に必要な身体動作の検討（E 伊藤教授）
16:15	自由討議 研究支援センター守事務長を交えて

3/10（火）	
9:00	総合討論：今後の共同研究の進め方、来年度活動方針など
12:00	閉会

